

河内の文化遺産を守る会
インフォメーション 第91号
 平成28年5月30日

かねてより発電所用水の再利用で発電所の再開計画がありましたが、必要水量確保が困難とのことで断念する旨の連絡が入りました。残念ですが、今後の新たな展開を期待しましょう。

6月12日(日) 全体会草刈清掃を行います。(男性会員)

午前8時30分より 於:旧町屋変電所

元幼稚園校舎廻り・水路脇土手・まつり広場・史跡周辺整備・案内板補修
 (市の補助を受けて設置したものが劣化しましたので修理します)

お忙しいところ、万障お繰り合わせのうえご協力お願いします。

なお、事情で当日出席出来ない方は前日も予定しますのでご協力お待ちします。

総会懇親会を開催しました。

平成27年度事業報告、決算報告が承認されました。今年度事業計画と予算の打ち合わせを行い、まつりを中心に旧町屋変電所の活用を進めながらフォトコンテスト写真展、町屋石を含めた地域史跡の整備をするごと役員改選が、全員留任でまきました。



みなさんで協力して地域発展のために頑張ることで総会が終了し、ひきつづき懇親会がなごやかに開かれ、今後の一層の活動努力を確認しました。

西山の里桃源で「花しょうぶまつり」を開催します。6/10~26
 あんどんをお貸します。イベント多彩。是非ご覧ください。
 あんどんは6月18日に飾られます。



テーブル寄贈
 吉成馨様より
 6尺のテーブル12台いただきました。

東北芸術祭が
 開催されます。
 11月20日まで
 行われますので
 まつり集客期待。

主な展示会場	主な参加アーティスト	主な展示内容
五浦・高萩海浜エリア (北茨城市、高萩市)	計6会場	
県天心記念五浦美術館	チームラボ	映像インスタレーション、ワークショップ
旧富士ヶ丘小	日比野克彦	など
高戸海岸 (前浜、小浜)	イリヤ&エミリア・カバコフ	インスタレーションなど
日立駅周辺エリア (日立市)	計7会場	
うのしまヴィラ	いのまたあき	ヤドカリの生態展示
日立シビックセンター	和田永、河口洋一郎	家電によるオブジェ、映像など
J R日立駅舎	テア・マキバー	インスタレーションなど
奥久慈清流エリア (常陸大宮市、大子町)	計10会場	
旧家と楽青少年の家	ザドック・ベン・デイヴィッド	彫刻、和紙を用いた作品など
旧美和町	落合陽一、山本美希	メタモルフォーゼ、漫画など
J R常陸大子駅前商店街	B C L、東京芸術大	バイオアート、漆の作品など
常陸太田鯉ヶ丘エリア (常陸太田市)	計7会場	
パルティホール	國安孝昌	大規模インスタレーション
水府松平林耕地	ハンス・ベーター・ク	大規模インスタレーション
鯉ヶ丘地域	北瀬潤、原高史	インスタレーション

実施計画案によると、藤 慈清流(常陸大宮市、大子市)会場は、五浦・高萩海浜(町)▽常陸太田鯉ヶ丘(常陸太田市)の四つのエリアに計30カ所設ける。空き店舗を含む商店街など

東北芸術祭実行委員会が、茨城県北芸術祭の展示会場計30カ所と展示内容などが20日、明らかになった。同日、実行委員会総会が開かれ、作品展示や運営などに関する実施計画案を全会一致で承認した。同案では、追加発表を含め、80組程度を予定していた参加アーティストが約6割出た。9月17日の開幕日には茨城県大津町の県天心記念五浦美術館で開会典が開かれる。開幕まで4月を切り、県では、制作中、展示や機運醸成に向けた開催準備を進めている。

実行委員会によると、同美術館や日立シビックセンターなど公共施設のほか、海岸や廃校、道の駅、空き店舗を含む商店街などを活用する。日立市出身の建築家、妹島和世さんは、浅川温泉(大子町)の廃業した旅館を改装し、足湯を作品として公開する。

これまで参加が決定したアーティストは、一般公募などを含めて計86組。複数会場に出展するアーティストもあり、作品・プロジェクト数は最終的に100を超える見通し。海外アーティストが約半数を占める。

展示作品は、屋内外にオブジェや装置を置くなどして空間全体を作品とするインスタレーションのほか、パブリックアート、メディアアートなどで、会場を制作するアーティストも多い。

南茨城生協総合アトリクタ―森美術館長は「地元住民も含めた皆で芸術祭をつくり上げ、2回目以降も続けられるような成果を残したい」と意気込んだ。

芸術祭の会期は9月1日~11月20日の65日間。開幕日と閉幕日に式典を開き、開幕前日の9月16日には日案などを承認した。会場の標本告知事は「県北の自然や食文化、伝統、歴史を生かして、芸術祭をどう盛り上げていくかが今後、問われてくる」と述べた。

東北芸術祭
 実行委
86組決定、機運醸成へ

茨城新聞
 5月24日 火曜日
 茨城新聞社
 〒310-8686
 水戸市笠原町978-25
 電話(029)238-3001代
 http://baraknews.jp
 編集局
 電話(029)238-3020
 FAX(029)301-0362
 〒310-0120-029-218
 (平日午前9時~午後5時)